

陳情第34号	平成24年8月31日受理
付託委員会	産業都市常任委員会
件名	コミュニティバスの運賃改定・高齢者割引運賃の設定を求める件
陳情要旨	
<p>1. 運賃200円を150円に改定すること。</p> <p>2. 八千代市は高齢化率が25%超となっている。 交通弱者である高齢者の運賃を100～150円にすること。</p> <p>3. 運賃の大幅値上げによる乗客減が予想される。 試行後、乗降人員を調査し、乗客減が認められた場合は、試行期間終了（平成25年8月31日）前にも上記1、2の改定をすること。</p>	
理由	
<p>1. 試行運行の運賃は、ぐるっと号100円から200円に100%値上げになった。それによって路線バスの最低運賃160円よりも高い区間ができ、利用者が大幅に減少することが予想され、財政負担がふえる結果となる。</p> <p>2. 利用目的として、買い物、通院には、無料バス、路線バスが運行されており、コミュニティバスの必要性は少ない。 公共施設利用として、市役所、福祉センター、市民会館（平成25年4月以降）が考えられる。南部コースの場合1日6～7便となったが、市役所開庁時は、4便にすぎず、ほかの便の利用者はなく、土日運行は市民会館で行事等がなければ利用者はいない。</p> <p>3. この試行を決めた八千代市地域公共交通会議では、広く市民の利用ニーズを把握せず、一部の利用者のアンケート調査、鉄道駅への乗り入れで、バス事業者（東洋バス）への配慮、財政負担の軽減を運賃値上げでカバーしようと意図したものである。 しかし、路線バスよりも運行本数が少なく、所要時間がかかり、運賃が高いコミュニティバスをだれが利用するか疑問である。</p> <p>4. 千葉県内他市でもコミュニティバスが運行されている。市役所への連絡に市民の便宜を図るため運賃が100円のところが多い。</p> <p>100円 野田市、佐倉市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市</p> <p>150円 市川市（子供100円）、流山市（子供80円）</p>	

200円 成田市（子供100円）、君津市（高校生まで、障害者、65歳以上100円）

以上、このまま試行運行すれば、利用者は、運賃収入はふえない。

早急に抜本の見直しが必要である。